

2021年3月3日

リコー、UV インクを搭載した大判フラットベッドプリンター「RICOH Pro TF6251」を発売
～大判フラットベッドプリンターとしてクラス最速の印刷速度を実現～

株式会社リコー（社長執行役員：山下 良則）は、サインディスプレイ市場に向けて、さまざまなメディアにダイレクト印刷し看板やパネル、グッズ、加飾した建材などを制作する大判インクジェットプリンター「RICOH Pro TF6251」を2021年3月4日に受注開始します。



RICOH Pro TF6251

近年、サイン業界や印刷業界では、イベント装飾用途のサインに加え、商業施設やオフィス、自宅などの空間の演出のため、建材への加飾といったさまざまなメディアへの印刷ニーズが拡大しています。こうしたニーズの背景には、それぞれの空間にあったデザインへの関心の高まりがあり、多品種小ロットの対応が求められています。メディアに汎用品の加飾フィルムを貼り付ける従来の生産方法は小ロットの制作に時間やコストがかかります。そのため多品種小ロットを短納期で制作するために、メディアに直接印刷が可能で生産工程を短縮できるフラットベッドプリンターの活用が広がっており、さらなる生産性の向上がサイン業界や印刷業界で求められています。

新製品は、リコーとして国内初となる UV インクを採用したフラットベッドプリンターで、クラス最速の印刷速度と幅広いメディア汎用性により、スチレンボードのパネルや金属の標識、段ボールの包装材だけでなく、建材やインテリアなど多種多様なアプリケーションへの印刷が可能です。印刷速度は、最速で時間あたり 116 m²*1*2 を実現しました。印刷領域は最大で 2500mm×1300mm で、業界で最大となる厚さ 110mm までのメディアへの印刷を可能としました。またオプションでロールメディアへの印刷も可能で、2200mm(幅)×300m(長さ)までの印刷が可能です。また、Greenguard 認証*3 に準拠した臭いの少ない UV インクを採用したことで屋内アプリケーションにも対応可能としたほか、光を照射すると瞬時に強固に硬化する UV 硬化型インクを採用することで、速乾性が求められる印刷や、インク受容層のないメディア

株式会社リコー www.ricoh.co.jp

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806(直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp
お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111

への印刷を可能とし、多種多様なメディアへの対応を実現しました。また、色域の広いインク「RICOH Pro UV Ink GP120」と、高い密着性と広い色域を兼ね備えたインク「RICOH Pro UV Ink DG130」といった2種類のインクを採用したことで、活用用途やメディアの種類に応じてインクを選ぶことが可能です。

こうした特徴により、サインディスプレイ市場において多品種小ロットや短納期へのニーズへの対応を可能としビジネスの拡大を支援します。また、オリジナルデザインニーズのある内装建材や家具をはじめとしたインテリアの分野へもインクジェットの可能性を広げていきます。

リコーは今後も、さまざまな製品、サービスを通して衣・食・住に関わるさまざまなシーンでプリントの可能性を広げ、新しい価値、新しい体験を提供することで、新たなプリント文化の創造に寄与してまいります。

*1 4C(CMYK) Draft モード 635×300dpi/3pass

*2 4C(CMYK) Draft モード 635×300dpi/3passでロールメディアオプション時: 67m2/h

*3 室内空気汚染や化学物質への曝露を抑え、健康的な室内空気環境を実現することを目的とした認証

製品名	RICOH Pro TF6251
プリント方式	インクジェット方式
最大プリント範囲	リジッドメディア 2,500mm(幅)×1,300mm(長さ)、110mm(厚さ) ロールメディアオプション装着時 最大で2,190mm(幅)、300m(長さ)
標準価格(消費税別)	¥15,950,000
受注開始日	2021年3月4日

なおリコーの国内販売会社であるリコージャパン株式会社は、2021年3月9日(火)から12日(金)まで開催される第50回店舗総合見本市「Japan Shop」に出展します。

第50回店舗総合見本市「Japan Shop」

会期:2021年3月9日(火)~12日(金)

場所:東京ビックサイト(東京国際展示場) 西展示棟 (東京都江東区有明 3-11-1)

主催:日本経済新聞社

URL:<https://messe.nikkei.co.jp/js/>

リコーブース:西1ホール JS1330

<新製品 RICOH Pro TF6251 の主な特徴>

1. 多品種小ロットに対応する高い生産性

- ・ 印刷速度は、4C Draft モード*1 で 116 m²/h、4C Standard モード*2 で 48 m²/h と、産業印刷をリードする高い生産性を実現。
- ・ リコーがこれまで蓄積してきた産業用プリントヘッド技術を活用した MH54 シリーズプリントヘッドを 3 列スタガ*3 で合計 12 本配置することで、高い生産性と優れた画質を実現。

*1 635 × 300dpi/3pass

*2 635 × 600dpi/8pass

*3 3 つのインクヘッドの位置をずらして配列する方式

2. 多くのビジネス獲得につながるメディアの汎用性

- ・ 印刷領域は、リジッドメディアは最大 2,500mm(幅) × 1,300mm(長さ)、110mm(厚さ)まで対応。また、ロールメディアオプションを装着することで、最大で幅 2,190mm(幅)、300m(長さ)のロールメディアへの印刷が可能。
- ・ Greenguard 認証を準拠した臭いの少ない UV インクを採用したことで屋内アプリケーションにも対応。
- ・ 光を照射すると瞬時に強固に硬化する UV 硬化型インクを採用することで、速乾性が求められる印刷や、インク受容層のないメディアへの印刷に対応し、プラスチックカードなどの商業印刷物、看板や電車・バスのラッピング広告などの屋外広告物、建築内装、家電製品や IT 機器などのプラスチックメディアへの印刷など多種多様なメディアへの印刷を実現。
- ・ ロールメディアオプションを採用することで、大型のバナー、横断幕、懸垂幕、内照サイン、ウインドウフィルムなどのアプリケーションへ対応。

3. 多様な用途やメディアの種類に対応する高画質

- ・ 特徴をもった色域の広いインク「RICOH Pro UV Ink GP120」と、高い密着性と広い色域を兼ね備えたインク「RICOH Pro UV Ink DG130」2種類のインクを採用。用途やメディアの種類に応じて選択することが可能。
- ・ リコー独自の MH54 シリーズのプリントヘッドは、解像度 600dpi のプリントヘッドあたり 1,280 個(320 個 × 4 列)のノズルを搭載し、マルチドロップ機能により、グレースケールの鮮明な表現や、シャープで正確なテキスト、滑らかなグラデーション、リアルな肌のトーンを表現。

※ニュースリリースに掲載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2013年3月期リコーグループ連結売上は1兆9,244億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「*imagine. change.*」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。

www.ricoh.co.jp/about/